

簡単と拡張性を合わせ持つ Webフレームワーク INTER-Mediator

新居雅行 / Masayuki Nii

Server Night! #25, Apple Store, Ginza



Who is the presenter?

- Masayuki Nii msyknii
- ▶ IT Professional
 アップル認定システムアドミニストレータ
 アップル認定トレーナー
 マイクロソフト認定プロフェッショナル
 マイクロソフト認定トレーナー
- Developer
 Web Framework "INTER-Mediator"
 iOS Development and Training
 FileMaker 11 Certified Developer



Agenda

▶ INTER-MediatorによるWebサイト構築

- ▶ デモ
- ▶ WebフレームワークとINTER-Mediator
- ▶ 開発フレームワークとしての位置付け

Webアプリケーションとは

- ブラウザで利用できるアプリケーションネットワークを介して接続したサーバにデータベースがある
- ▶ FacebookやAmazonも広い意味ではWebアプリケーション
- 実現方法一般にサーバ側にプログラム仕込む汎用的なものから業務アプリケーションまでさまざまなソフトウエアがある
- ▶ **従来は携帯とPCで別々に作られていた** スマホ時代になり、携帯とPCの区別はもはや無意味

現在のIT環境に欠けているもの

- ▶ 多人月、巨大なWebサイト向けの技術は発達 MVC系のフレームワーク、アスペクト試行やDI
- ▶ エンドユーザでも作成可能なWebサイト構築には遠い目…業務処理のためのシステム構築は企業の規模に関係なくニーズはある 大規模な開発を手がけるような業者に出す予算がない 小規模な割には高いお金を取られる
- ▶ デスクトップアプリのFileMakerみたいにWebページを作れないか? いっそのこと作ってしまえ …と思って作業をしたらできてしまったのが INTER-Mediator

INTER-Mediatorのゴール

- データベースとHTML要素をダイレクトに結合 何もしなくても、データベースのデータがページ上に展開 入力したデータを、何もしなくてもデータベースに書き込み
- ▶ 必要な機能を追加する仕組みを提供 展開したページ上での処理をJavaScriptで記述 データベースから取り出した結果を処理してクライアントに送信 複雑なデータ処理もできるようにする
- ▶ 言語を混在させない、新たな言語の創造をしない HTMLで記述するページは、HTML意外の要素を加えない

INTER-Mediatorの動作のポイント

- クライアントサイドでテンプレート処理純粋なHTMLで記述したページを用意データベースから取り出したデータがページに埋め込まれる
- たとえば、テキストフィールドタグ: <input type="text" class="IM[addressbook@name]" />

上記の記述により、テキストフィールドが画面に出る addressbookテーブルのnameフィールドの値が表示される テキストフィールドのデータを変更すると、変更結果が元のレコードのnameフィールドに書き戻される

[適用例] INTER-Mediatorのサイト

http://inter-mediator.info/



デモ

▶郵便番号検索

ト伝票形式のページ

基本的な開発手順

▶ 定義ファイルを作成してサーバに登録接続先のデータベースや、検索条件、ソート条件、テーブル間の連携(外部キーと対応 フィールド)などを指定する

▶ もとになるHTMLページを作る

ヘッダ部のscriptタグで定義ファイルを読み込む 要素のclass属性(あるいはtitle属性)に、リンク設定を記述する body要素のonload属性に、INTERMediator.construct(true);と記述する

トリンクノードの設定

class="IM[tableName@fieldName@target] ノードテキストだけでなく、要素やスタイル、追記も対応 innerHTMLへの設定も可能

さまざまな機能

- トページ送りナビゲーションの自動生成
- ▶ 1対多の展開、条件付き展開なども可能 伝票形式のページ作成が可能 あるポップアップの値に応じて別のポップアップの選択肢を変えることもできる 独立した複数の展開も可能
- ▶ レコードの追加や削除のボタンを自動生成ページ送りナビゲーション上に表示繰り返したレコードのそれぞれに「削除」ボタン
- ▶ ブラウザの判定処理

動作環境

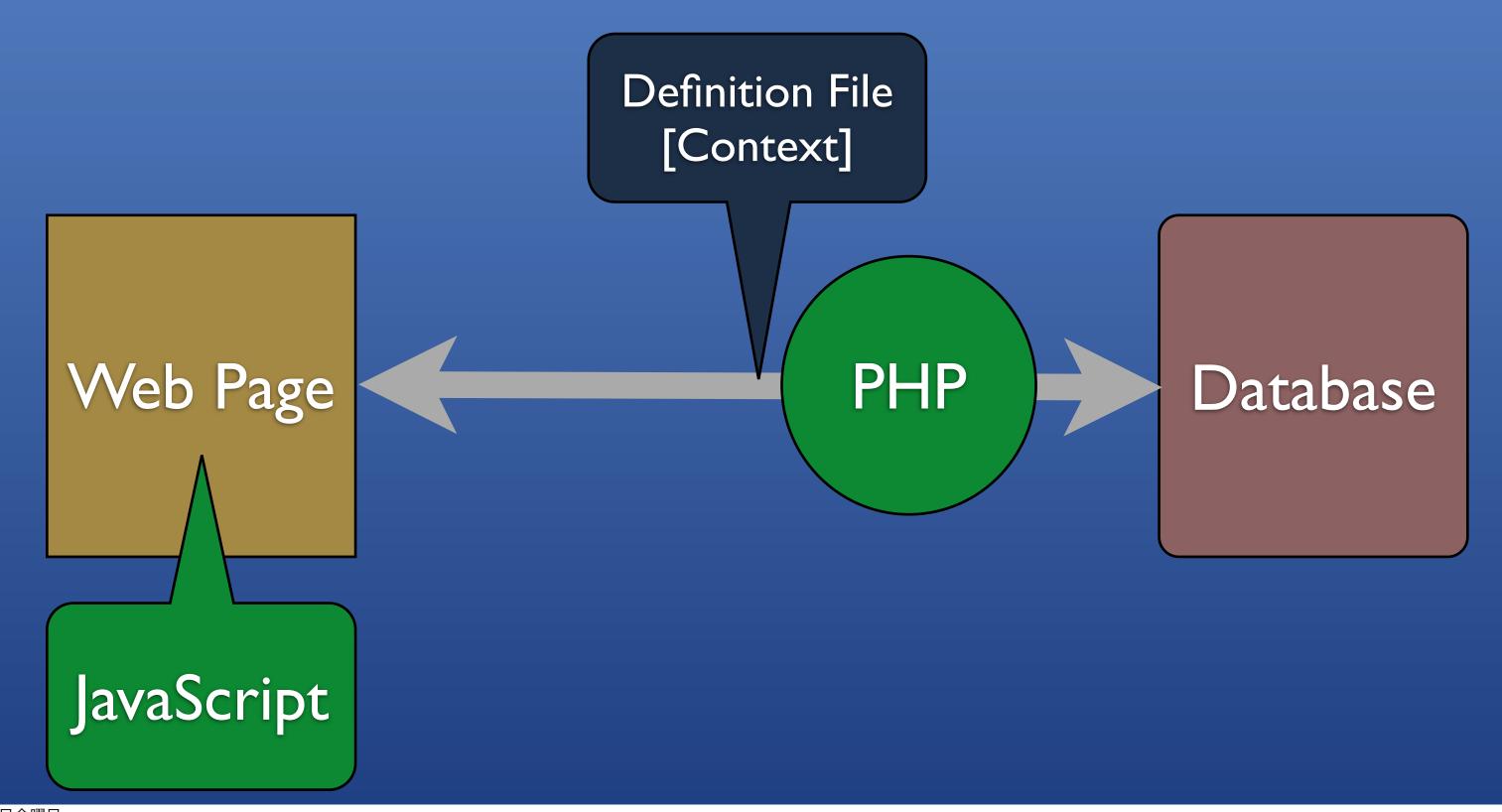
- ▶ 対応データベース FileMaker Server、PDO対応データベース
- ▶ 対応サーバ PHP5が動くサーバ(Apache/IIS)
- 対応ブラウザ
 HTML5対応(もう少し前のものも動くはず)
 Firefox、Chrome、Safari、Opera
 IE8、IE9(IE7は一部制限あり、IE6は無視!)
 スマートフォンOK、ガラ携対応予定全くなし

テンプレート処理の基本

エンクロージャ/リピータリンクノードとその上位ノードをたどり、リピータとエンクロージャを決定する

	エンクロージャ	リピータ
テーブル	tbody	tr
汎用	div [_im_enclosure]	div [_im_repeater]
汎用	span [_im_enclosure]	span [_im_repeater]
番号リスト	ol	li
箇条書き	ul	li
ポップアップ	select	option

INTER-Mediatorの構成



現状一般に使われているフレームワークの問題点

- トMVC、規約…これらには実績もあり否定するものではないですが…
- ▶ ビューをPHPやRubyで記述する
 単に変数を出力する記述を書くだけとは言っても、言語の混在が発生する
 <?php echo \$row["field"]; ?> みたいな表示がHTMLに混在
 ビューにロジックが書けてしまうため、処理の分散が発生する
- ▶ ちょっとしたサイトでもたくさんの記述が必要 プログラマの言う「ちょっと書けば」は、一般人からすれば「大量」 テーブルとほぼ同じ構成の画面作成でも、MVCを分離しないといけない 後から何ともでもなる…という理由は、単に上流の設計を無視しているだけ

このところのフレームワーク事情

- ▶ Javaの世界は落ち着いてきた? Strutsなど定番がある
- ▶ **星の数ほどある「JavaScriptベースのテンプレートエンジン」** まだ、定番がない? 特殊な夕グや言語、特殊な記述を含めるのが一般的 JavaScriptのプログラムを書くのが一般的
- ▶ サーバサイドでJavaScript ORにこだわったり、こだわらなかったり いずれにしても、JavaScriptに活路を見出している

INTER-Mediatorの特徴

- トロジックとプレゼンテーションの完全分離 言語の混在を防ぐ
- トデータベースの直接利用
- ト複雑なデータ処理に対応
- トオープンソース/スマートフォン対応
- ▶ 少ない記述で把握しやすいコード

開発プラン

- メディア対応ファイルのアップ/ダウン、画像、ビデオ等
- ▶ 認証とアクセス権
 認証とアクセス権を組み合わせた全自動なセキュリティ
- ▶ Local DB/Cloud DB対応
- トドキュメント整備

まとめ

- ト Web開発の現状
- ▶ INTER-Mediatorのデモと動作原理
- ▶ INTER-Mediatorによる開発

P.S.

すでに某病院向けのシステムの一部に利用実績あり